

整備した道路の有効活用を

警察署と協議を進める



戸来 伝
(市民連合クラブ)

車線規制しています。事故発生件数等が少ないことから信号設置は難しいとされていますが、バリケードによる車線規制を改めることについて警察と協議を進めたいと考えています。

議員 焼山地区と十和田湖畔地区の活性化の取り組みは。

観光商工部長 焼山地区活性化計画を策定しましたが、地方創生や人口減少対策などへの対応が必要となったため、上位計画等との整合性を図り取り組むこととしました。今年度は試掘した温泉とスキー場リフトの活用などについて調査します。

十和田湖畔については、環境省による南祖庵撤去を初めとした園地整備、県による歩道整備、市による観光交流センター整備、地元住民による十和田神社周辺の整備など、関係機関が連携し活性化に取り組んでいます。

議員 中央モータースクール南側の道路は、途中からバリケードによる一車線規制や、丁字路に信号がなく危険な状態である。整備した効果を生かせるのではないのでは。
建設部長 この道路は都市計画街路として四車線で整備しましたが丁字路の見直し確保のため、一部

議員 奥入瀬渓流の利活用については。

観光商工部長 エコツーリズムに取り組む団体が渓流全体を「自然の博物館」と見立てる構想を発信しており、今後広く宣伝したいと考えています。また、ネイチャーガイドや奥入瀬渓流のコケの魅力発信の活動については、今後ともバックアップしたいと考えています。

公衆トイレの新設と改善は、観光客の皆様にとって散策していただくため欠かせないものと認識しています。国立公園内のため、県を通じ要望しており、今後も早期整備に向け粘り強く進めます。



奥入瀬渓流の魅力を活用



石橋 義雄
(自民公明クラブ)

地域高規格道路の整備実現を

期成同盟会設立し 働きかけを強化する

えています。

議員 災害時の人や物の移動や観光事業発展のためには交通の便の良さが重要となる。県へ重点事業として要望している八戸西インターから当市を経由して小坂インターにつなぐ地域高規格道路整備の取り組み状況は。

建設部長 地域高規格道路は国際的観光地十和田湖、奥入瀬渓流を有する本

地域において、広域救急医療や災害時の緊急輸送体制の整備など、地域の安全、安心を確実なものとし、物流や観光などによる地域経済の振興と地方創生の実現のために重要な役割を果たすと考えています。このことから、関係する六市町村長と議会議長で構成する期成同盟会をことし七月に設立し、国や県に対して整備実現に向け、働きかけを強化したいと考えています。

え、

議員 交通事故が多発しているオレンジハート高清水店付近交差点への信号機設置等、安全対策を

建設部長 昨年度から県と連携し、右折車線や歩道の整備に着手しています。また、整備完了時に信号機を設置することで県警察本部と協議していますが、完了するまでかなりの期間を必要としますので、運転者に対する注意喚起の看板を設置するとともに信号の仮設置についても要望したいと考えています。

光電鉄の鉄道事業廃止後、代替バスは高校生の通学の重要な手段となっています。待合所整備は通常バス運行事業者が行いますが、用地等の確保、整備費用や維持管理費等さまざまな課題があり整備されていない状況です。利便性向上や利用促進にもつながると認識しており、他自治体を参考に関係機関と協議し、支援について検討する考えです。

議員 県道三沢十和田線のバス停留所に風雨をしのげる待合所を設置するために支援する考えは。
企画財政部長 十和田観



高清水交差点に早期の安全対策を